第 124 回番組審議会議事録

1　開催年月日　　2024 年 6 月 10 日（火）

2　開催場所　　　豊田屋旅館

3　出席について

〇委員総数　　13 人

〇出席委員数　 8 人

出席委員の氏名（敬称略）

風間隆之　／　風間まり子　／　佐藤正幸　／　清水一希

富田充慶　／　竹中隆　／　田中美由紀　／　吉井照雄

欠席委員の氏名（敬称略）

相京恵　／　今井陽子　／　小澤健一　／　高井俊一郎

吉村巳之

〇ラジオ高崎　　3 人

専務執行役員　　　関口高史

執行役員放送局長　田野内明美

営業課長　　　　　岡田浩

4　議題　やるベンチャーウィーク受け入れ中学校制作番組

「私の LOVE をさらけだせ(高南中学校)」　6 月 5 日放送分

「TAMO レディオ(高松中学校)」　　　　　6 月 6 日放送分

「佐野中・鉢の木ラジオ(佐野中学校)」　　6 月 7 日放送分

5　議事の概要（別紙）

6　審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

・書面　　ラジオ高崎に備え置き

・ホームページ　　ラジオ高崎ホームページ内　　http://www.takasaki.fm

・ラジオ高崎放送　2025 年 1 月 12 日(日)　午前 6 時 55 分～6 時 59 分

（別紙）議事の概要

・専務執行役員関口高史より挨拶。
・執行役員放送局長田野内明美より特別番組の紹介。

○高崎シティプロモーション 2024（3/29、3/30、3/31）
○高崎ストリート 20 周年記念特別番組（3/31）
○交通事故ゼロを目指して（4/6～4/15）
○高崎シティプロモーション 2024（再放送 4/22～6/22）
○高崎市やるベンチャーウィーク 生徒制作番組（6/5、6/6、6/7、6/9）

新番組の概要
○高崎グルメぐり（高崎銘菓・名産品編） 2024 年 3 月～
火曜日～木曜日 午前 11 時、午後 2 時 15 分（日替わりで 1 店舗）
土曜日 午後 3 時（3 店舗一挙放送）
○FRESH 2024 年 3 月～
月曜日～金曜日 午前 7 時～9 時
○高崎ほるもん放浪記
第 2 金曜日 午後 9 時 30 分～9 時 45 分
○いつかの本棚
金曜日 午前 10 時 45 分～11 時 00 分

※審議対象
【素材名】やるベンチャーウィーク受け入れ中学校制作番組
「私の LOVE をさらけだせ(高南中学校)」 6 月 5 日放送分
「TAMO レディオ(高松中学校)」 6 月 6 日放送分
「佐野中・鉢の木ラジオ(佐野中学校)」 6 月 7 日放送分
【内 容】高崎市やるベンチャーウィーク事業でラジオ高崎を訪れた高南中学校・高松中学校・佐野中学校の生徒たちが、番組・CM の構成、収録、編集（一部）を担当したミニ番組です。
【放送日】2024 年 6 月 5 日(水) 12 時 00 分～12 時 20 分 高南中学校
2024 年 6 月 6 日(木) 12 時 00 分～12 時 20 分 高松中学校
2024 年 6 月 7 日(金) 12 時 00 分～12 時 20 分 佐野中学校
2024 年 6 月 9 日(日) 18 時 30 分～19 時 30 分 3 校一挙放送

・番組説明と OA 素材試聴のあと、広く意見を求めた。

委員各位の意見

やるベンチャーウィーク受け入れ中学校制作番組について

〇ラジオに興味がある子達にとって貴重な経験だったと思う。ラジオ高崎も全力でサポートしているのが伝わった。また自校だけでなく、他校の番組も聴いてもらうとよいと思った。

（事務局）
それぞれの学校で、給食時間に番組を流してもらった。各校にはそれぞれの放送データしか渡していないため、他の学校の番組も聴けるようにと、日曜の夕方に３校一挙放送を試みた。

〇20 分が短く感じるほどとてもおもしろく、良い番組だった。学生によるミニ番組やミニコーナーが毎日あってもよいと思った。アナウンサー志望だけでなくディレクター志望の子たちにとっても刺激があったのではないか。生徒たちがやるベンチャー体験後に何を感じ今後にどう生かしたいかなども聞いてみたい。

（事務局）
各校とも、体験した中で心に残った話や体験などを感想文にして後日送ってくれるが、ラジオに興味を持ってくれる若い世代がいるんだな、とうれしく思った。

〇とても感動した。すごく上手だったし、好きなことを話してるからかとても堂々としていてよかった。他の学校の番組も聞いてみたいし、家族にも聞かせたいと思った。

〇ハツラツとしていて、難しい言葉を使わないからよけいにストレートに入ってくるのが良かった。市役所でもやるベンチャーの中学生を受け入れているが、子供たちから学ぶことが多いな、と感じている。

〇今後、中高生向けの時間帯や特集もできたらいいと思う。今はテレビやラジオ以外にも子どもたちにとって色々な楽しいツールがあるから、その中でラジオが今後も定着し続けるための方法を考えていかなければならない。

その他の番組やラジオ高崎の取り組み全般について

〇番組審議委員会で述べた意見が感想で終わってしまっていないかを危惧している。番組づくりの際に委員から出た意見がどう反映されているか、委員にも目に見える形で示してもらえるとありがたい。

（事務局）
番組に対するご指摘をたくさんいただいているので、いただいた意見をまとめて提示できるようにしたい。

〇ラジオ高崎の 30 周年に向けてどんな番組作りをしていくか企画を進める際には、ぜひ番組審議委員にも話合いできる場を設けてほしい。

以上